

新しい社会言語学の入門書

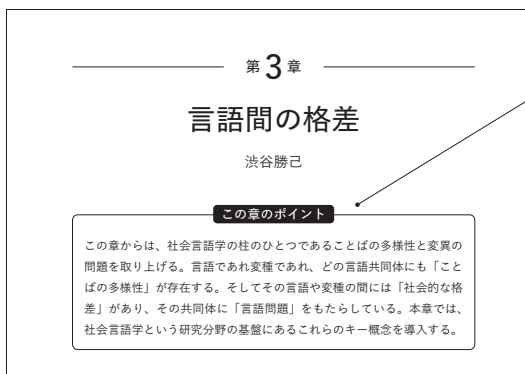
# 社会言語学の枠組み

井上史雄・田邊和子 [編著]

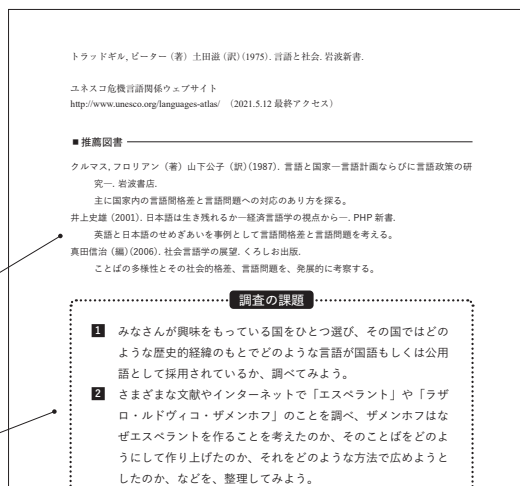
11月25日  
発売予定

堀江薫／渋谷勝己／塩田雄大／山下早代子／  
笹原宏之／小野寺典子／泉子・K・メイナード [著]

A5判並製／224頁 2,420円（本体2,200円＋税10%）



各章冒頭に、その章で扱う内容が簡単にまとめられた「この章のポイント」掲載



各章末尾に「推薦図書」を掲載

各章の末尾に、授業中のディスカッションのトピックや授業後の課題にできる「調査の課題」を掲載

## 【目次】

第1章  
社会言語学の枠組み 動向と展望  
井上史雄

第2章  
言語と社会の規定関係  
堀江 薫

第3章  
言語間の格差  
渋谷勝己

第4章  
標準語と方言  
塩田雄大

第5章  
ことばの性差  
山下早代子

第6章  
集団語  
井上史雄・田邊和子

第7章  
敬語と社会  
井上史雄

第8章  
日本語の文字 変異・政策・景観  
笹原宏之

第9章  
談話の規則性  
小野寺典子

第10章  
談話と言語のバリエーション  
その規則性と創造性  
泉子・K・メイナード

この1冊で社会言語学が扱う内容の全体像がわかる！  
⇒大学1,2年生のテキストに最適！（自習も可）